

逢いたかった

戦後六十五年を迎え

逢 いた か っ た

戦後六十五年を迎え



春爛漫



初夏の慰霊堂

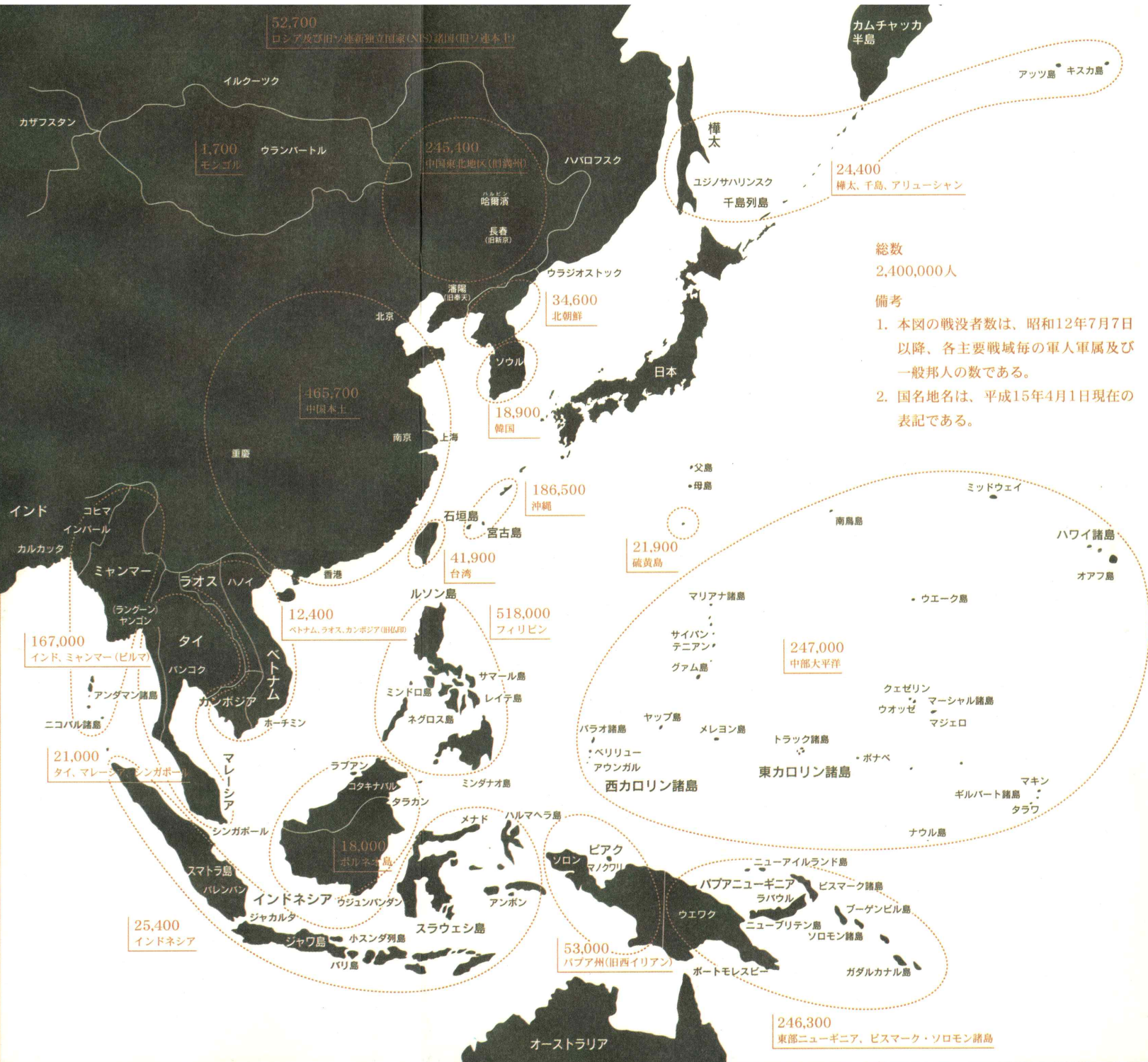


慰霊堂裏庭の秋



山門の雪化粧

52,700
ロシア及び旧ソ連新独立国家(NIS)諸国(旧ソ連本土)



総数

2,400,000人

備考

1. 本図の戦没者数は、昭和12年7月7日以降、各主要戦域毎の軍人軍属及び一般邦人の数である。
2. 国名地名は、平成15年4月1日現在の表記である。

戦後六十五年記念誌発刊にあたって

財団法人 神奈川県遺族会

会長 小菅 寅一

このたび、女性部と事業委員会の合議により、戦後六十五年記念事業として、お母さん達のご主人との思い出、戦後の子育てのご苦労などの証言や、遺児達の父や母への思い、などの内容を中心とした記念誌を発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

振り返れば、二十世紀の時代は科学的には目覚ましい進歩した世紀でもありました。

そうした中、我が国は幾多の戦いにより、多数の尊い人命がその犠牲となり、国民に深刻な精神的、物質的打撃を与えました。

更に、戦争のつめ跡は、国難に殉じられた方々の、とりわけ、残された弱い立場の人たち（妻や子供達）におよびました。悲しみと寂しさ、辛い社会での経験等々、私達はそれらの経験などを風化させることなく、次世代へと伝えてゆく必要性を痛感するものであります。

今回の記念誌には、様々な方々から、多数の貴重な投稿をいただいたとお聞きしております。『わが身をつねって人の痛みを知る』が如く、戦争を知らない世代の人達が、その体験をご理解していただき、恒久平和への道へと続き繋がる貴重な資料となりますことを願っております。

最後に、多くの会員各位のご協力に感謝を申し上げ、女性部ならびに事業委員会の皆様には深く敬意を表し、発刊のご挨拶と致します。

目次

悲しきかな、戦争の思い出	石川 映子	1
戦後六十五年を顧みる	石塚 喜代子	4
なにをするにも一生懸命	伊東 昭子	8
思い出の数々	大澤 春子	10
夫の出征	大八木 淑子	13
昭和二十二年の秋	小川 君子	16
恐かった横浜大空襲に想う	金子 スエ	22
もう一つの戦い	金子 三好	25
あなたまだ頑張っていますよ	川村 文子	29
主人の思い出	北島 カツミ	30
主人の分まで長生きして	工藤 京子	32
海軍軍属の出張により戦死の思い出	小峰 ミサ	34
一生懸命に生きて	斎藤 フデ	37
戦地からの帰りを待つ妻	坂本 ふじ子	38
我が家の戦後を振り返る	柴田 ユキエ	40

思い出は遠くにありて	白山	ユキ	43
戦中・戦後と	杉浦	徳子	46
会いたかった	角田	フミ子	49
戦後六十五年を迎えて	袖田	キク	51
終戦六十五周年を迎え	曾根	八千代	54
洋裁を修業し子供を育てる	高根	まさ子	57
懐かしい人々	佃	馨	60
遺族なればこそ	轟	アサ子	62
別れ	中村	志げ子	66
終戦八年後	橋本	綾子	69
終戦六十五年目を迎えて想うこと	府川	みつ枝	73
忘れられない	星	ヤスヨ	75
今は幸せ	松井	ヨシエ	78
苦難の多き十年	松下	みわ	80
親子三人生き抜いて	宮森	育子	84
あなたのそばへ	村上	まり子	88
戦時中の思い出	山口	正子	91

父への想い	青木 康浩
お父さんへ	池亀 恵子
鎮魂	石井 昭男
父の最期の地で	石川 初代
六十五年目の残像	市島 和子
軍靴の響きかまびすし	遠藤 陽子
転校にあけくれた小学生時代	大久保 初枝
父母を語る	大越 幸雄
戦争―そして別れ	小熊 紀久子
六十五年を振り返って	柏木 允
母の思い	加藤 浩之
もう誰も恨みません	金松 美恵
父の戦死と母	北村 岑雄
遺児によるフィリピン慰霊友好親善訪問に参加して	串田 明久
平和の代償	久保田 昌司
父への思い出	小宮 義昭

苦勞の人生	栄	貴代	137
私の戦争体験	澤村	裕幸	141
家族で渡った満州での悲しみと別れ	篠田	欽次	143
海岸通りと横浜国民学校	島崎	利二	148
天国の父母へ想うこと	清水	妙子	151
短歌 我が家の戦中戦後史	須賀	一枝	154
みんな元気です お母さん	鈴木	マサ	158
亡き母の詠める	鈴木	勝	161
親父 おやじ どの	清野	道郎	165
三枚のハガキが語るもの	関根	伸一	167
父亡き後の戦後の生活体験	瀬戸	恵子	169
日中友好訪問に参加して	田野井	信行	171
悲しみを乗り越えて	田村	美智代	173
飛ばない竹トンボ	内藤	剛	176
祈り	永井	由美子	179
父の戦死 家族 そして今思う事	中村	ヤスヨ	181
面会した父は雄々しかった	野崎	逸郎	184

短歌・・・・・・・・・・・・・・・・	野澤 とみえ・・・・・・・・	186
次世代に引き継ぐこと・・・・・・・・	野田頭 佑・・・・・・・・	187
戦争に思う・・・・・・・・・・・・・・・・	秦 範子・・・・・・・・	190
積年の思いよ届け・・・・・・・・	広瀬 文子・・・・・・・・	192
私の戦争体験・・・・・・・・	溝口 愛子・・・・・・・・	195
母を偲ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・	村上 保子・・・・・・・・	198
戦争責任・・・・・・・・	村山 矩子・・・・・・・・	201
館林・・・・・・・・・・・・・・・・	森田 和夫・・・・・・・・	204
終戦六十五年を迎えて・・・・・・・・	山崎 都里子・・・・・・・・	207
父・・・・・・・・・・・・・・・・	吉澤 庸子・・・・・・・・	209
私の戦争の記憶・・・・・・・・	渡辺 キヨ・・・・・・・・	211
ヒマワリの咲いていた日から・・・・・・・・	渡邊 玉見・・・・・・・・	214
戦争は二度と起こすまじ・・・・・・・・	伊藤 文治・・・・・・・・	218
遺族会・・・・・・・・・・・・・・・・	小川 英子・・・・・・・・	222
祖母の涙・・・・・・・・・・・・・・・・	坂本 松男・・・・・・・・	224
私の戦争体験記・・・・・・・・	高橋 春吉・・・・・・・・	226

学徒勤労働員……………	中村とし子……………	231
心ばいしたよ、おじいちゃん……………	野口聖菜……………	235
戦死がなければ……………	福井恵美子……………	238
未来に向かって……………	山田和子……………	240
鎮魂、報恩、感謝の念をもって……………	譲原武彦……………	242

題 字
写真
地 図

脇坂 宜志（寒川町支部）
財団法人 神奈川県遺族会所蔵より
千鳥ヶ淵戦没者墓苑パンフレットより転載